広報かじき

No.297
昭和54年10月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／㈲吉屋印刷

秋空に青春の歓声

残暑の厳しさもやわらぎ、日一日と秋らしさを増してくるとともに、スポーツの秋を告げる運動会が各地でにぎわっています。

加治木中学校も十月二日、同校グラウンドで開かれ、伸び伸びと、グラウンドいっぱいにくりひろげられました。

◆人口22,295(＋50) 男10,658(＋27) 女11,637(＋23) 世帯数 7,237(＋10) 54.9.1現在（　）前月比

統合中学校や公営住宅新築工事請負契約を締結

＝第八回臨時町議会＝

昭和五十四年第八回臨時町議会は、九月十三日に開かれ、統合中学校普通教室棟新築工事請負契約締結や、昭和五十四年度公営住宅新築工事（西黒川団地二種中耐十六戸）の請負契約締結、それに衆議院議員選挙に伴なう補正予算などが上程され、審議の結果、原案どおり可決されました。

統合中新築工事は二億六千九百九万円で契約

統合中学校及び公営住宅新築工事請負契約は、指名競争入札の方法で行われ、統合中については、二億六千九百九万円で加治木統合中学校建設共同企業体代表者松田建設株式会社がまた、公営住宅については、九千八百三十万円で親和建設株式会社と締結することにいずれも可決されました。

工期については統合中学校が昭和五十五年八月三十日までの三百五十二日間、公営住宅については昭和五十五年三月二十五日までの百九十四日間です。

クイ打ちが始まった町営住宅

一部簡易保険融資でできた蔵王住宅

郵便局の簡易保険

12兆円を突破

町のためにも役立っています

国民の皆様に親しまれてきました「郵便局の簡易保険」は、毎年四百万件以上の新規加入をいただいておりますが、おかげさまで資金総額が、去る八月二十七日に十二兆円に達しました。一口に十二兆円といっても見当がつきませんが、国民一人当たり約十一万円のお金を簡易保険に預けているのと同様の勘定になり、その膨大さがご理解いただけると思います。

では、この簡易資金はどのように扱われているのでしょうか。皆様が日常何気なく利用されている鉄道や道路あるいは県や市町村で建設する学校や住宅、公園等に融資され、豊かな町づくり、住みよい社会づくりに役立っております。

当加治木町にも五十三年度中に公営住宅事業等に八千六百四十万円が融資され、総額で三億八千六百万円となっております。

郵便局としましては、これを機会に、国民生活の向上・発展にさらに役立つよう努めてまいりたいと思います。

また郵便局の簡易保険では、本年も米寿（八十八歳・明治二十四年生れの方）を迎えられた方を対象に、米寿を祝して本町で二人の方々に郵政大臣から記念品が贈呈されました。

国保シリーズ③

健康づくり!!

①〈あなたの健康はあなた自身がつくるものです〉

あなたの健康はあなた自身がつくって行く以外にありません。健康管理は一人一人が責任をもって考え、実行していくものなのです。病気になってはじめて健康のありがたさに気づくようでは遅すぎます。健康への日頃の努力は、国保の一員であるあなたの務めです。

②〈今日からはじめる健康づくり〉

今、あなたはあなたの健康づくりのために何をしてますか。散歩体操、マラソン、流行のジョギングなどあなたの体にあった運動はあなたの心がまえ次第でいつでも簡単にはじめられます。栄養のバランスのとれた食生活、十分な休養ということも実行していますかさあ、あなたの家も今日から健康家族の仲間入り――明日からでは遅すぎます。

○日頃の健康、日頃の努力

○一つはもとうあなた自身の健康法

心配ごと相談

毎週木曜日午前中

町福祉センターで

十月は食生活改善普及運動月間

ごちそうは子供に多めに盛り付けを

食事の面から見ると、子供は決して〝おとなの小型〟ではありません。

体は小さいですが、発育が盛んで、しかも運動量が多くエネルギーをたくさん使いますので、おとなに比べてはるかに多くの栄養素が必要です。

体重一キログラム当たりでみますと、子供は、たんぱく質やカルシウムは成人の約三倍、ビタミンやミネラルも二倍以上は必要です。

食品でいえば、肉、魚、卵、牛乳、乳製品、骨ごと食べられる小魚、海草、野菜、くだものなどを多く食べさせることが大切で、おとなと同じ質の食事では栄養不足になりかねません。

だからといって、子供向けの特別料理が必要なわけでもありません。家族と同じ献立に、魚を一切れ増やしたり、牛乳や卵、ソーセージなど発育を助ける食品を付け合わせてあげるとよいでしょう。

ごちそうは、親より子供に多めにつけること――これが、子供の食生活のポイントです。

おやつは四番目の食事

子供は、発育がおう盛で、運動量もおとなに比べて断然多いのですが、半面、体が小さく胃の働きも弱いので、三度の食事だけではどうしても必要な栄養素を摂取することができません。

おやつが、子供の食事を考える上で大切なのは、このためです。つまり、子供にとって、おやつは食事の一部なのです。

といって、むやみにおやつを与えるのは感心しません。あくまでも三度の食事を基本にし、一日に一～二回時間を決めて与えるようにしましょう。

おやつの回数や量が多すぎると、食事のときに空腹感がなく、そのため好きでないものにはしをつけなくなり、偏食やムラ食い、わがままを助長する結果にならないとも限りません。

さて、おやつにはどんなものがよいのでしょうか。適当に量があって、しかも消化がよく、水分の多いもの（または水分をいっしょにとる）で、たんぱく質やビタミン、ミネラルなど発育に必要な栄養素を含んだものが、よいおやつといえます。

このため、単品で与えるよりも、二品ぐらいを組み合わせて与えるのがよいでしょう。

ですから、一日の栄養のバランスをよく考えて、穀類やイモ類のカロリー源とたんぱく質の多い牛乳、乳製品、卵、それにビタミンを多く含む野菜やくだものをそれぞれ組み合わせて、おやつの献立を考えましょう。

なお、子供にとってたいへん魅力のあるチョコレートやあめなどの甘すぎるもの、また、合成着色料などの添加物のはいった飲み物、お菓子類はできるだけ避けるようにしましょう。

わが家の〝偏食対策〟

〈偏食の原因を見きわめよう〉

- ▷両親や兄弟に偏食の人はいませんか
- ▷食品の選び方が間違っていませんか
- ▷間食がすぎていませんか
- ▷いつも無理じいしていませんか
- ▷食事の行儀をやかましくいいすぎていませんか
- ▷体の病気や心の病気はありませんか

〈家族の協力で、温かく、ねばり強く〉

- ▷色や形、味、舌ざわり、盛り付けに工夫を
- ▷気分やふん囲気に注意し、気持ちをひこう
- ▷きらいなものを食べたときは、ほめよう
- ▷運動させて、空腹感をもたせよう
- ▷親がおいしく食べてみせよう
- ▷友だちといっしょに食事する機会をつくろう

質の改善が見られた

町畜産品評会

九月五日、旧鎮守小跡で開かれた町畜産品評会は各大字から選ばれた牛五十九頭、豚十七頭、合わせて七十六頭が出品され、体型や資質など入念に審査が行われました。

審査の結果、質の改善の後が良く見られ、飼料給与の改善による体積が良くなっている。今後の改善として日常管理により肢蹄を丈夫にし長く使用できるようにしてもらいたいと講評された。

各部門ごとの入賞者は次のとおりです。

▽大字別成績

肉用牛

①小山田　②辺川　③西別府

肉牛

①小山田　②木田

種豚

①反土　②小山田　③木田

▽チャンピオン賞（農業委員会長賞）

肉用牛＝楠元正男（西別府）

肉　牛＝市野親義（小山田）

種　豚＝柚木　満（反土）

▽ロータリークラブ賞（会長賞）

肉用牛＝外村秋男（西別府）大脇修身（木田）楠元正男（西別府）日高一夫（小山田）鳥丸辰夫（同）

肉牛去勢＝犬童弘（小山田）

肉牛雌＝市野親義（小山田）

種　豚＝柚木　満（反土）

▽個人別成績

毛なみや体型を入念に審査

肉用牛一部

優等＝①外村秋男②内村栄

肉用牛二部

優等＝①大脇修身②前畠伸一③内村義光④大脇修身⑤岩穴口秋夫⑥桃木野清光⑦中野光雄

肉用牛三部

優等＝①楠元正男②同③外村秋男④犬童貞己⑤穂満茂

肉用牛四部

優等＝①日高一夫②内村光夫

肉用牛五部

優等＝①鳥丸辰夫

肉牛去勢の部

優等＝①犬童弘②同

肉牛雌の部

優等＝市野親義

▽種豚の部

ランドレース

優等＝①柚木満②南原春男③外薗暢一④柚木満⑤同

バーク

優等＝末吉君子

郡ホルスタイン共進会で優等賞

郡ホルスタイン（乳牛）共進会は、隼人の中央家畜市場でさる九月十四日に行われ、本町から出場した三頭ともに優等賞の輝かしい成績をおさめました。

入賞者は次のとおり

優等賞

橋口弘（弓削）緒方功（長谷）堂下光志（布越）

町農業振興地域整備促進協議会会長に山崎氏

本町農業振興地域整備促進協議会は、本年七月で任期満了となり昭和五十四年八月一日から五十六年七月三十日までの向う二か年間の委員が次のとおり決まり、このほど第一回の会議にさきだち、町長から各委員に辞令が交付されました。

会　長＝山崎　昭（町議会代表）

職務代理＝岸野広（農業団体代表）

委員＝東藤男（町議会）蔵満洋一（農業委員会）石原五男（同）外園貢（農業団体）犬童猪之二（同）南原鉄男（同）福村厚行（同）田中早苗（同）東明（農業振興会）山下茂（同）福ケ迫貢（同）犬童豊（同）上村まさ子（青年婦人組織）垣内光男（公民館組織）鹿屋政治（同）小宮路東（同）坂口秀志（学識経験者）米沢晴美（同）

文化財めぐり 38

西姫供養塔

木田・西ノ原

日新公第三女で、肝付弾正忠兼盛の夫人である。三郎五郎兼寛を生み、故あって離別し、大正十一年正月十五日、伊作の西の城で死去した。現に伊作の多宝寺島津家墓地に祖母梅窓院と同じ場所に葬ってある。（母堂寛庭大姉の墓は加世田にある）

後で兼寛はこれをきき、石塔を萩原寺に建立し、萩原寺を椿窓寺と改称した。これは西姫の椿窓寺殿椿窓妙英大姉の法号にちなんだものである。この石塔は今長年寺島津墓地にあるが、いつ移されたか不明である。

日新公の第一女は御南御前といって肝付兼続の夫人で、墓は肝付郡高山町にある竹田神社刊行の「ぼさつ日新公」によれば、西姫は二女で、三女は十六代義久の夫人で早死されている。

場所は、西ノ原部落の山手にある。

話題

青壮年ソフト大会
優勝は城南地区

町内地区対抗青壮年ソフトボール大会は、九月二日、町営運動場で三十歳未満三人、四十歳未満四人、四十歳以上が二人の編成で行われ、地区民の応援のもと熱戦が展開されました。

試合は三パートに別れ、一勝したチームが決勝トーナメントに進む方式で、錦江Ⅰ・錦江Ⅱ・城南城西・城北・錦江Ⅲの6チームが進み、決勝では城南が城北を八対七で破り優勝しました。

成績は次のとおりです。

優勝城南、二位城北、三位錦江Ⅲ四位錦江Ⅱ

城南対城北の優勝戦

交通安全パレード
柁城小児童も協力

今年も九月二十一日から三十日までの十日間、秋の全国交通安全運動が繰り広げられましたが、柁城分会（中間洋右会長）では、地域ぐるみで、交通安全運動をすすめようと、安全運動初日の二十一日、町内の目抜き通りをパレードし交通安全を呼びかけました。

このパレードには、柁城小児童鼓笛隊二百人も協力参加、パトカーを先頭に役員、警察、町交通係の職員らが続き、「交通事故のない住みよい町にしましょう」と、運転者、歩行者に呼びかけました。

こうして秋の全国交通安全運動はお互いの協力により町内においては大きな事故もなく実のりある成果をあげました。

蒲生田通りをパレード

県優良少年少女団体として表彰
柁城サッカースポーツ少年団

地域子ども会やその他の青少年団体の活動が各地で盛んになってきた今日、県内の少年少女の資質を一層高め、さらに少年少女団体活動の充実、振興を図ろうとリーダー研修会がこのほど二日間にわたり県青少年研修センターで開催されました。

この研修会において、本町柁城サッカースポーツ少年団は、優良少年少女団体として、県教育委員会、県子ども会育成連絡協議会から表彰を受けました。

柁城サッカー少年団は、部員四十三人で、小陣の池ノ上健二さんらの指導のもと毎日練習に励み、八月には、鹿児島市の少年団と合同合宿を開き、技術の向上をはかるとともに、町内の市街地の路上を空かん拾いや清掃奉仕作業を行い通行人や住民に大変よろこばれていました。

表彰された柁城サッカー少年団

小山田の山野に
キジ200羽を放鳥

小山田の本土ケ原から市来原の地域は、本年度から向こう三年間休猟区域となるため、この山野にきれいなキジをふやそうと、県猟友会から贈られたキジビナ二〇〇羽を、九月五日、放鳥しました。

このヒナは、曽於郡有明町等でフ化した約百日ビナで、本土ケ原市来原の山林を中心に、県農林事務所、町の林務係の職員や鳥獣保護員の溝口久男さんらが、ダンボール箱から次々に取り出し自然の中に放された。

大きく育だてと放鳥されるキジ

放されたキジは、方向がわからなく山林に飛びたつもの、畑に飛びこむもの思い思いに飛出して行きました。

来春以降、このキジがヒナをかえし町内のあっちこっちにきれいな姿を見せることを期待しています。

敬老の日を前に清掃
＝塩入寿会＝

九月十五日の敬老の日には、長寿を祝いして町内の各地で色々な催しが開催されましたが、塩入の寿会（川原熊男代表）では、この敬老の日を前に公民館や周辺のやぶ払い等清掃に汗を流しました。

この寿会では、国や地域から〝してもらう〟でなく何か自分達で出来ることをしようと、自発的に清掃活動に取り組まれたものです。

ごくろうさまでした。

奉仕作業に汗を流したみなさん

第一回社会福祉大会

元気いっぱい融和を求め

功労者15人を表彰

スポーツの秋を飾る運動会、九月二十三日には本町社会福祉大会並びにスポーツ大会が、加治木中学校で行われました。

かねてじかにスポーツを楽しむ機会の少ないお年寄りや母子家庭それに体の不自由な身障者たち約四百人が参加、背筋をピンと伸ばし、元気いっぱい趣向をこらしたプログラムに挑戦しにぎわいました。

この日はまずスポーツ大会に先きだち、昭和五十四年度社会福祉に功労された十五人を表彰。このあと選手を代表して四元義雄さん（老人クラブ）が力強く選手宣誓を行い競技に入りました。

競技は、まず八十㍍競歩にはじまり、車いす競争やジャンケンポン大会、二人は若い等が行われ、秋空の一日を楽しく過しました。

また、婦人会の踊りや、昼食時には望岳園の入園者が楽器演奏を披露し花を添え、それぞれの手弁当を広げ昔話しに花が咲いていました。表彰された社会福祉功労者は、次の方々です。

林政雄（里ノ上）南芳彦（蔵王団地）松木キミ（岩原西）岩下みどり（須崎）藤崎久美子（港町）海老原はるえ（港町）山元真子（里ノ上）西間庭キクエ（内原田）平田直喜（望岳園）木場フヂエ（岩原東）前田幹子（東諏訪）坂元重子（中福良後）杉田平（須崎）四元鈴子（豊町）塚本直人（東塩入）

「こんだ入れよ」と輪入れに懸命

婦人会だより

秋、十月、実りの秋、スポーツの秋、読書の秋……。秋は他の季節にくらべて、何をするにもふさわしい時期のようです。計画をたて充実した毎日を送りたいものです。

おむつ一枚運動

望岳園と南九重心病棟へ

婦人会員が一枚ずつ持ちよったおむつ六〇〇枚。新しいおむつ、シーツやゆかたから上手に再生されたおむつ、どれからもみなさんのやさしい心が伝わってきます。

さる九月十三日、町婦連役員が望岳園と南九重心病棟を訪問し、おとどけしました。

いくらあっても足りないおむつとても喜んでくださいました。今頃あなたの作ってくださったおむつもいっしょうけんめい働いていることでしょう。

個人ではたった一枚でも、婦人会という一つの組織により、大きく役立ちました。みなさんご協力ほんとうにありがとうございました。

生活学校だより

「食生活を考える」をテーマにして学習しています。

野菜の安全性について

葉菜は炭素同化作用・光合性作用により、硝酸塩が貯蔵され、転流する場所がないので葉に残る。亜硝酸塩は発ガンの原因といわれています。

○ 一年中、土壌の同じであるハウスのホーレン草に硝酸塩が多い、路地ものがよい。

○ 塩分の少い堆肥→腐植（カリ）→微生物（カルシュウム）などの有機物を含んだ土づくりをし連作をさけ、金肥、化学肥料をさける。

○ 農薬は、安全使用基準が作物毎に示してあります。農家の方は安全使用基準を守ってください。私達消費者は、幅広い知識ももつ、かしこい消費者になりましょう。

食肉の安全性について

牛肉の需要はふえているのに、子牛の生産が少なくなりつつあります。牛が田すきをしている頃はよく生れていたような気がします。そして最近の家畜は「薬づけ」という飼い方だといわれ、牛舎に入りきり「牛のかぎっ子」です。

○ 草（飼料作物、稲ワラ、牧草）と農薬（家畜への影響）。

○ 飼料添加剤として配合飼料に添加され、飼料として毎日採食されるもの。

○ 畜産農家が、動物薬品を購入して投薬されるもの。

○ 獣医が診療投薬されるもの等あり、昭和五十二年一月二十四日飼料安全法で規制されています。

加治木町
文化祭
11月2・3日
町福祉センター

ゴミ収集場所はいつも清潔にしましょう

町合同金婚式

仲むつまじく21組のカップル

敬老年金も贈呈

「いつまでも仲よく、健やかに」と、敬老の日を目前にした九月十二日、本町の合同金婚式と敬老年金等の贈呈式が、町福祉センターで開かれました。

結婚して五十年、夫婦健康でいろいろな経験をつまれ過ごされてきたカップル二十一組、また八十歳以上九十歳未満の敬老者四百八人、老人等介護者三十五人に、敬老年金や記念品がそれぞれ贈られたあと、模擬結婚式では一組ごとに金婚の杯をくみかわし長寿をよろこびあいました。

このあと町長や各代表らが「ご長寿おめでとうございます。人生の永い、きびしい世の中を生き抜いてこられたみなさん、これからも更に健康に注意され、平和な社会、家庭づくりの中心になってください。」と祝福しました。

ことしの金婚夫婦は次のみなさんです。

堀栄吉・フジ（於里）坂元精一・ツ子（西反土前）法元幸彦・ツギ（田中）篠崎重雄・カツ（柳田）石原敏秀・清（柳田）日野良兼・隆子（柳田）木原正武・香代（東諏訪）豊村篤彦・ミユキ（天神）西田吉二・トキエ（天神）西田虎吉・フヂ（今町）松田彦三・ヒサエ（港町）岩元敬吉・ミカ（岩原西）江口杉夫・カヨ（岩原西）白浜新・ナツ（須崎）花牟礼精太・キワ（井手向）内村勇・スエマツ（市来原）屋所紋二・キミ（西浦西）犬童初男・シゲ（西浦西）福森松男・ユカ（隈原上）後藤平次・ヒメ（桃木野）鹿島章・エイ（市野）

喜びも悲しみも共に50年　誓も新たに金婚の杯

長寿おめでとう

九十歳以上を慰問

九月十四日には敬老の日を前にして、これまで永年にわたり社会に貢献してこられたお年寄りに感謝と長寿をお祝して、町長をはじめ各団体の代表者等が、九十歳以上二十八人の家を訪問しました。

ことしの最高年齢は、上木田の扇蘭カ子チヨさん九十八歳で、この日の訪問をまちわびておられました。カ子チヨさんは、耳が遠いが体はいたって元気。食べ物はトマト等野菜類がすきで、楽しみは庭先の畑の草とりとか、いつまでもお元気でお過しください。

この日は、町長からのお祝い金や、知事や婦人会、社会福祉協議会からのお祝いの品物が贈られました。

また新しく九十歳になられたお年寄りに、役場の写友会から顔写真が贈られました。

贈り物を手によろこびの扇蘭さん（九八）

山径や霧と下りくる人の声　加藤　白柳

新涼や萩焼淡き紅を刷く　三浦　ゆう

新涼や遠嶺さだかに根無雲　井之上透山

堰を越す水の光も盆過ぎて　鶴田　耕

せせらぎも湯の香漂ひ蟬の鳴く　横山　江南

父の亡き本間の広さちちろ鳴く　川崎　黒兎

昼風呂の人手借る身や法師蟬　田代　俊泉

動く雲いつしかかげり秋の色　上野　光

妻を呼び解夏の月蝕雲間より　恒吉　斗南

秋の夜の皆既月蝕雲繁し　高木　正男

休耕の山田飾りて芹の咲く　宮脇　思川

災害等にあった方は

所得税の減額申請を

十一月は、所得税の第二期分を納めていただく月です。しかし、今年になってお店をやめたり、休んだりして、昨年に比べ納税額が大幅に減る見込みの方や、火事や風水害などで財産に損害を受けた方などは税務署に「予定納税額の減額申請」をしてください。第二期分の税金が減ったり、ときには納めなくてすむことがあります。

提出期限は、十一月十五日までです。

詳しいことは、税務署又は税務相談室にお尋ねください。

昭和54年度

水稲収穫等作業料金が決定

昭和五十四年度、水稲収穫作業および、もみすり等の料金が次のとおり決まりました。

（標　準）

収　　穫　　（10アール当り）

コンバイン刈取	バインダー刈取	脱　　穀
16,500円	8,000円	6,000円

籾すり等　　（玄米30キロ）

乾燥料金	籾すり	紙　袋
300円（コンバイン800円）	260円	76円

運賃検査場まで（玄米30キロ）
上場70円・下場60円

おしらせ

不法電波を一掃し　明朗な受信を!!

十月一日から三十一日までの一か月間は、全国電波障害一掃月間として、テレビやラジオ等の明朗な受信確保のための運動が実施されます。

最近では、免許にならない無線機（トランシーバー等）を自宅あるいは自動車等に設置して不法電波を発射するものがふえ、テレビやラジオ等に妨害を与えています。また、航空機、船舶の通信、パトカー、消防車の緊急連絡など人の生命にかかわる通信にも、たびたび支障をきたしています。

このような、他人に迷惑をかけたり人の生命にもかかわるような不法電波の発射はやめるようにいたしましょう。

テレビやラジオの受信に障害があったときは、九州電波障害防止協議会（〇九六三―五三―〇五一一）又は、NHK放送局内の県協議会に連絡ください。

うぶ声

八月二十一日から九月二十日受付分

出生者　保護者　部　落

蓬原朝子　巧　輝己　今町
栫井枝穂　弥勒
上原香織　力　蔵王団地
松永邦弘　博喜　札立
米丸紗緒里　岩政　今町
井上欣載　学　高井田
武田由美　光義　萩原
津崎和浩　富穂　下新道
常盤恵介　信一　豊町
堂森潤平　巧　弥勒
田中寛樹　穂積　向江町
森永真衣　和夫　蔵王団地
坂元昭策　廣幸　宮田ケ平
四元秀典　義次　柳田
政田さやか　智治　高井田
尾之上正成　正文　向江町
白石理恵子　民夫　西江口団地
石野美香　洋一　中野
嵜川公徳　義則　竹下
川原朝子　史郎　茶碗屋
上猶めぐみ　末広　蔵王団地
藤田綾佳　秀次　萩原
矢富麻希　則義　竹下
兼松孝明　裕二　毛上
山口紘史　勝久　豊町
末永貴也　義章　楠園
重山拓己　則明　江口団地
米増和郎　悦郎　蔵王団地
中林　学　亨　吉原
西濱幹郎　孝治　高井田
内村加代子　忍　江口団地
柿内茂樹　洋　春日団地
下楠薗朋子　傳　楠園

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　東諏訪　市来　達也（フカミ75）
一万円　下新道　下園フヂ子（利男31）
一万円　提水流　川床　正義（エダ77）
一万円　岩原西　壱岐　栄蔵（スミ68）
三万円　小　陣　森木　テル（政雄77）
二万円　西反土後宮崎　愛子（武男65）
一万円　東塩入　丸岡キミ子（秋雄65）
二万円　下新道　永松　初枝（川添節子51）
一万円　曲　田　東　俊則（ハナエ61）
一万円　柳　田　四元　義次（秀典0）
三万円　新　中　川野　清博（シゲ85）
五万円　朝日町　城川　久子（演男77）
一万円　辺川下　中野　アツ（良光65）
二万円　今　町　梅田　フミ（ヨシ81）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　下東木　渋谷　ミネ（栄吉73）
三千円　毛　上　川辺フク江（竹夫73）
五千円　上東木　日高ハナエ（熊吉81）
二万円　小　陣　森木　テル（政雄77）

▽…九月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

今月は、町民税固定資産税三期の納期です